

船橋市では現在進めている
「行政改革」のなかで、国
民健康保険料を2018年か
ら12年間、6回に分けて引
き上げる計画を打ち出しています。

これを受けて昨年12月1
日、「船橋市国保をよくす
る会」が市に保険料の引き下
げなどを求めて要請を行いま
した。

15億円の繰り入 れ廃止が市の目標

要請の中で「12年後に何
を目指しているのか」と聞く
と、市側は「一般会計からの
繰り入れを無くすことだ」と
答えました。

今年度予算で繰り入額は15
億7500万円で、加入世帯
数は8万5058世帯（20
19年6月1日現在）。繰り
入れが無くなると1世帯平均

横断歩道設置を警察に要望

船橋市飯山満地域のみなさんが、危険な交
差点への横断歩道設置を求めて、船橋東警察署
に要望書を提出しました。

参加者は「近くに大型スーパーがあるため、
子ども連れや高齢者など買い物客の横断が多い」「高校生の通学路になっているため、頻繁に横断している」「一日中、絶え間なく人が行き来している」など、現地の様子を伝えました。

対応した担当者は、「今後、交通量などを調査をして検討したい」と回答しました。

この地域では様々な住民運動が広がっており、新たな歩道の整備などが進められてきました。この日の要請もその一環で、「もっと安心して住める地域にしたい」と希望が広がっています。



横断歩道の設置を求めて船橋東警察署に要請する地域のみなさん。左端は丸山慎一前県議。



国保料引き下げ求める参加者と丸山慎一前県議（正面左）、松崎佐智子そよ子（その左）、両市議
（右）
（12月19日・船橋市役所）

2万円近く保険料が上がるこ
とになります。市側は「一度
に高くならないよう2年ご
とに上げていく方針だ」と答
えましたが、最終的に満額値
上げになるのは変りません。

市によれば国保料滞納世帯
は1万5603世帯（18.3%）
ですが、ますます滞納
が増えて医療が奪われること
になるのは明らかです。

要請では応能負担（所得割）
と応益負担（均等割）の割合
についても質しました。
船橋市では現在、応能・応
益の比率が63対37ですが
これが無くなると1世帯平均

低所得者には より重い引き上げ

要請では応能負担（所得割）
と応益負担（均等割）の割合
についても質しました。
船橋市では現在、応能・応
益の比率が63対37ですが
これが無くなると1世帯平均

県は53対47を基準として
います。もしも船橋市がこれ
をめざせば均等割を大きく引
上げことになるため、低所
得者に重い値上げとなります。

高くて払えないのにさらに
引き上げ、低所得者により重
い負担を課すのは、命と健
康を根本から脅かすものです。

また要請では、生まれたば
かりの子どもにも均等割（年
間3万2950円）を負担さ
せるやり方について、「子育
得者に重い値上げとなります。

市民の声から要求実現 長津川公園の遊歩道がきれいになりました

船橋市旭町にある長津川親
水公園は、周囲に1・1キロ
ほどの遊歩道や展望スペース
が設けられており、ジョギン
グや散歩など市民の憩いの場
となっています。

しかし遊歩道には大きな段
差があつたり、展望スペース
は地盤沈下で危険な状況とな
っていました。

改修が進められました

市側は「橋の段差は県が今
年度中に実施することにな
なっている」「展望ス
ペースも県が改修のため
の実施設計を行なつてい
る」と回答。さらに改善
されることが明らかにな
りました。この2カ所が
終われば、要望した改修
はすべて完了することに
なります。

また一つ、市民の声が
実現しました。

子どもの均等割で 独自減免を求める

市側は、「国に要請している
との回答にとどまりました。
要請には、日本共産党の松
崎佐智・神子そよ子両市議も
同席しました。